



# 「水の都・MATSUE DREAMS」で達成する 持続可能な経済・社会・環境



島根半島(枕木山)から中海・大山を望む



## 山陰の政治・経済の中心 **松江**

- 島根県の県庁所在地 中核市(2018年～)
- 面積 572.99km<sup>2</sup>
- 人口 203,616人(2020年国勢調査)



## 歴史・文化が息づく地域社会 **松江**

- 国際文化観光都市(1951年～)



## 豊かな自然環境 **松江**

- ラムサール条約登録湿地(宍道湖・中海)(2005年～)
- 島根半島・宍道湖中海ジオパーク(2017年～)

松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」において  
松江市が目指す2030年の将来像

夢を実現できるまち  
誇れるまち **松江**



島根県松江市

うえさだ あきひと

松江市長 **上定 昭仁**

# 1. 松江市について

## 松江市にしかない強み

### 私たちの「日常」のなかにあるもの



世界有数

プログラミング言語「Ruby」



世界

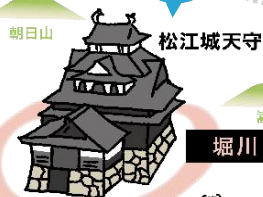
世界で活躍する人材

世界の人々を魅了する逸材が生まれ育つ

佐太大神の  
出生地といわれる  
加賀の潜戸



国宝



大山隠岐国立公園



えびす様の総本宮  
美保神社

日本海



神在祭

日本一

宍道湖のシジミ



宍道湖



松江しんじ湖温泉

嫁ヶ島



来待石



美肌の湯として知られる  
玉造温泉

さんかさい  
鑽火祭

節分祭  
豆まき神事



古代には出雲の国で最も社格が高い神社  
熊野大社



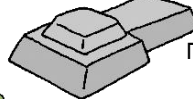
琴行列



日本最古の大社造  
神魂神社本殿

大橋川

日本で初めて  
「前方後方墳」とされた  
山代二子塚古墳



「黄泉の国」への入り口が  
あるとされる  
黄泉比良坂

星上山

日本一



牡丹の生産量日本一  
大根島

中海

唯一



いずものくにふどき  
出雲国風土記

唯一

かみありつき  
神在月



バックキャスト

## 〈松江の課題〉

少子化・高齢化

市街地の空洞化

過疎地域の拡大

コロナ禍による  
経済の停滞

観光知名度・  
ブランド力の不足

地元への愛着・  
誇りの醸成

## 〈解決の手がかり〉

### 世界の潮流

SDGs

カーボンニュートラル

生物多様性

デジタル化

### 松江市固有の契機

「MATSUE DREAMS  
2030」策定

市役所新庁舎  
オープン

大橋川拡幅に伴う  
市街地再開発

国際文化観光都市

## 〈モデル事業〉

水域資源の保全・活用の両立による  
経済循環のロールモデルを構築

## 〈松江の将来像〉

MATSUE  
DREAMS  
2030

夢を実現できるまち  
誇れるまち 松 江

「松江産の食材が  
スーパーに増えた」



「世界中から松江に  
人が集まる」

「松江市民の  
モットーは  
『寛容』」



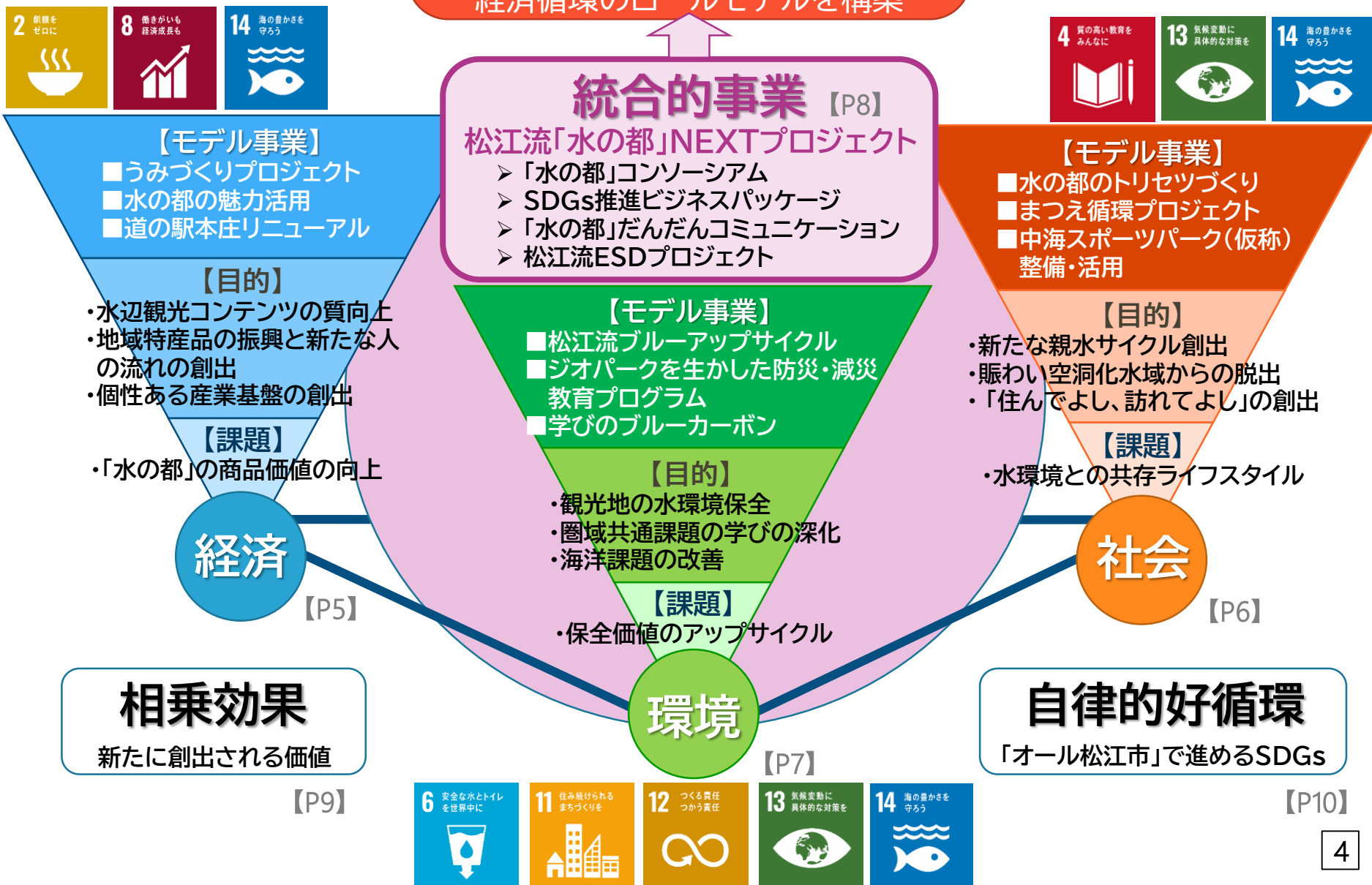
「日本が誇る『環境主都』まつえ」

「世界の水都  
MATSUEが  
水辺と公共交通の  
概念を変えた」





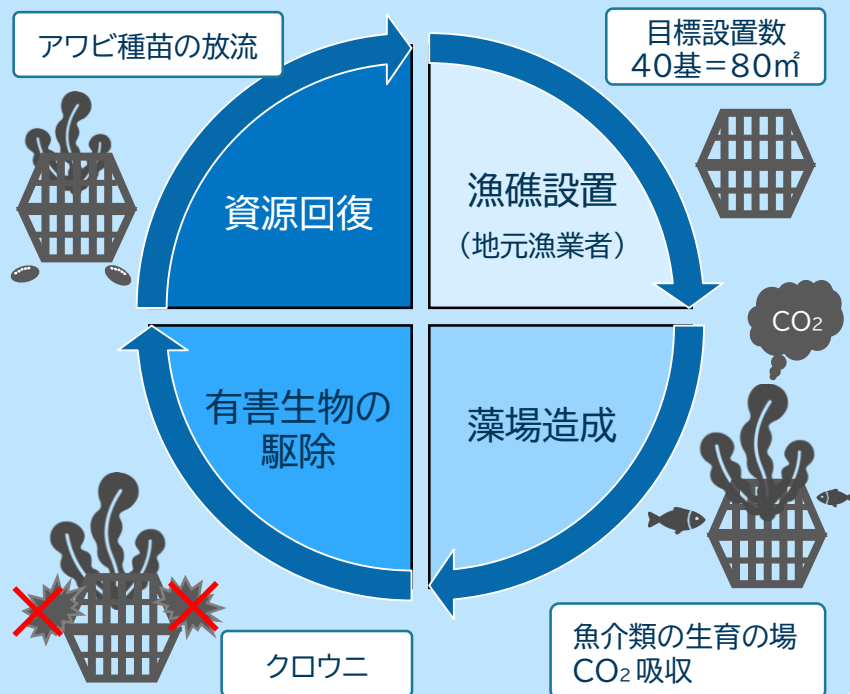
水域資源の保全・活用の両立による  
経済循環のロールモデルを構築



## うみづくりプロジェクト

- ①循環型漁場再生〈日本海〉
- ②アワビ種苗生産振興〈日本海〉
- ③潜戸100周年記念タイムカプセル・海底貯蔵酒  
カウントダウンイベント〈日本海〉
- ④サルボウガイ養殖支援〈中海〉

〈①循環型漁場再生 ②アワビ種苗生産振興〉  
クロウニによる漁場被害や海水温上昇の影響により傷つ  
いた藻場の回復／地元漁業者による小型漁礁の設置



## 水の都の魅力活用

- ①湖に癒されるヘルスツーリズム〈穴道湖〉
- ②嫁ヶ島栈橋整備・活用〈穴道湖〉
- ③水辺の利活用促進〈穴道湖・大橋川〉

## 〈③水辺の利活用促進〉

大橋川拡幅予定エリアに隣接する白潟公園での飲食・物  
販・アクティビティ(社会実験)



## 道の駅本庄リニューアル

地場農産品の販路拡大、市民・観光客の交流・賑わい創出  
〈中海〉

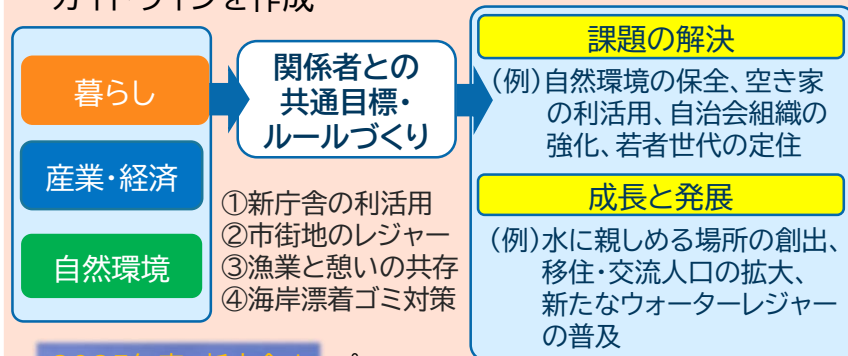
- 〈2023年度〉
  - ・調査準備
  - ・利用者・地元ニーズの調査
  - ・利活用計画策定
- 〈2024年度〉
  - ・関係者調整、基本設計
- 〈2025年度〉
  - ・実施設計、用地取得



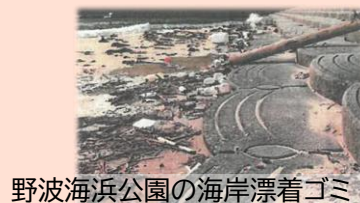
## 水の都のトリセツづくり

- ①市役所新庁舎利活用トライアル〈宍道湖〉
- ②水の都のトリセツづくり〈宍道湖・大橋川編〉
- ③ // 〈中海編〉
- ④ // 〈日本海編〉

自然環境の保全と暮らし・経済への活用の両立を図るため、地域住民ほか関係者とともに、水域資源の利活用ガイドラインを作成



2025年度 新庁舎オープン  
(2023年5月一部供用開始)



## まつえ循環プロジェクト

「まつえ環境クリエイティブディレクター」新羅 慎二氏(湘南乃風・若旦那)と市若手職員が連携、古民家の再生・タンスコンポストの普及・シジミ殻チョーク製作により持続可能な暮らしを实践



- 〈2023年度〉
- ・ファーマーズマーケット開催
- 〈2024年度〉
- ・古民家改修設計、シジミ殻ワークショップ・商品開発
- 〈2025年度〉
- ・古民家改修、プレイヤー募集

中海スポーツパーク(仮称)  
整備・活用

人工芝の広場を中核とした多目的パークの整備と周辺湖岸の一体的活用

- 〈2022年度〉
- ・市民アンケート、企業ヒアリング、実施設計
- 〈2023年度〉
- ・造成工事、周辺の利活用計画策定
- 〈2024年度〉
- ・施設建設、管理条例制定
- 〈2025年度〉
- ・供用開始





## 松江流ブルーアップサイクル※

- ① 宍道湖浄化と堆肥化実証実験
- ② ブルーアップサイクル研究プロジェクト  
〈宍道湖・中海・日本海〉

### 〈① 宍道湖浄化と堆肥化実証実験〉

水質悪化の原因である水草の堆肥化に向けた実証実験／ヨシ(葦)を活用したストロー・メモ帳・コースターの製作イベント／ラムサール条約登録湿地の水質浄化・生態系保全の意義をPR



### 〈② ブルーアップサイクル研究プロジェクト〉

海岸漂着プラスチックごみ・シジミ殻・松江城堀川に繁茂する水草など「厄介者」をアップサイクル／キャンプ用品などアウトドアグッズの開発を通じて環境問題への関心を醸成／化石燃料に代えプラスチックごみの燃料油化を推進



(※)アップサイクル: 従来廃棄すべきものに手を加え、新製品に生まれ変わらせる手法

## ジオパークを生かした 防災・減災教育プログラム

### 2017年「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」認定

地質・地形の理解促進により地域の防災意識を向上／出前講座・シンポジウムなど教育プログラムの実施／ジオパーク推進協議会・地域団体との連携による防災・減災教育の実践



## 学びのブルーカーボン

- ① ブルーカーボン実証実験(海藻によるCO<sub>2</sub>吸収効果検証・「Jブルークレジット」化へのトライアル)〈日本海〉
- ② ドローンで学ぶ島根半島ブルーツアー〈日本海〉
- ③ 中海・宍道湖・大山圏域市長会と連携したブルーカーボン活用研究会の設立

### 〈② ドローンで学ぶ島根半島ブルーツアー〉

水中ドローン・VRを活用した小中学生向け船上環境学習ツアー／島根大学・地元企業・報道機関との連携によるコンテンツ開発



## 松江流「水の都」NEXTプロジェクト

Network

ステークホルダーのネットワーク

Enthusiasm

まちづくりへの熱意

X

未知の出来事・経験

Trial

失敗を恐れないチャレンジ精神

水域資源の保全・活用の両立による  
経済循環のロールモデルを構築

〈事業〉

## ➤ 松江流ESD(※)プロジェクト

## ■ミライソウゾウプログラム

➔「MATSUE DREAMS 2030」に紐づくSDGsの  
取り組みを教育プログラムにして中高生に提供

## ■「水の都tube」僕らのESDプロジェクト

➔市民がSDGsを身近に感じ気軽に取り組める「水の  
都」をテーマにした動画教材を子どもたちと制作

## ■ジュニアSDGsリーダー育成

➔大学教授を講師にフィールドワークや合宿方式  
で行う、中高生対象のリーダー育成講座

〈全体マネジメント・普及啓発〉

## ➤ 「水の都」コンソーシアム

## ■「水の都」コンソーシアムの設立

➔市民・行政・企業・大学・金融機関などによるSDGsの推進母体

## ■松江市SDGsウィーク

➔島根大学・法政大学との連携により、シンポジウム・フィールド  
ワーク・海ごみアート展示などを行うイベント週間

〈全体マネジメント・普及啓発〉

## ➤ SDGs推進ビジネスパッケージ

## ■企業宣言・登録制度の創設

➔サステナブルツーリズムに取り組む観光事業者、地産地消の循環  
経営を行う農業事業者など、民間企業のSDGsへの取り組みをPR

## ■入札指名登録の加点制度の導入

➔上記宣言・登録企業の公共調達(総合評価)における加点評価

## ■ふるさと寄附の拡大

➔循環型漁業再生などSDGs関連事業に充当、SDGs意識の高い  
企業への訴求

〈全体マネジメント・普及啓発〉

## ➤ 「水の都」だんだんコミュニケーション

## ■ふらっと縁カフェ+SDGs

➔市長が市民と直接SDGsを語る

## ■出張SDGs出前講座

➔学校・地域の身近にあるSDGsを学ぶ

## ■パートナーシップ・アクションレター

➔ステークホルダーの役割分担と相互評価の「見える化」

## ■「MATSUE SDGs NOW!」の発信

➔市民の自主運営によるWEBでのSDGs情報の発信

(※)ESD:Education for  
Sustainable  
Development(持続可  
能な開発のための教育)



## SDGs観光



旅館・ホテルのアメニティ削減、公共交通の電動化

## OUTCOME

観光の魅力向上による**宿泊客**の増加／持続的な**商品・サービス**の展開／生産・販売の拡大による**所得増**／地域の**自然環境**や生態系保全への**関心度**の向上／地元への愛着向上による**関係人口**の増加

## 経済

【モデル事業】  
 ■うみづくりプロジェクト  
 ■水の都の魅力活用  
 ■道の駅本庄リニューアル

観光消費額の増加、  
起業・創業の機運  
醸成

「水の都」の価値  
向上による**商業  
利用**の増加

## IMPACT

統合的事業で新たに創出される価値  
〈松江流「水の都」NEXTプロジェクト〉

- 脱炭素・環境保全・豊かな生態系と、経済活動が調和する**成長サイクル**の確立
- 多様性ある地域社会の実現と、社会課題を自ら解決する**次世代人材**の持続的輩出
- 自然環境が人の営みによって受けた**損失の回復と再生**

環境保全のための  
安定的な**資金調達**  
と**地域循環**

## OUTCOME

水辺のメリットを活用した  
**CO<sub>2</sub>量削減**／企業での**ブルーカーボン活用促進**／  
水域の**水環境改善**／災害  
に対する**レジリエンス向上**  
／アップサイクル活動による  
**地域・企業の課題解決**

## 環境

【モデル事業】

- 松江流ブルーアップサイクル
- ジオパークを生かした防災・減災教育プログラム
- 学びのブルーカーボン

## 課題

市街地の空洞化、観光知名度・ブランド力不足、コロナ禍による経済停滞、少子高齢化、地元への愛着・誇り醸成、過疎地域の拡大

## 解決

環境保全活動を支える**リーダー人材**の継続的な育成

「水の都」の水域を  
身近に感じる市民  
の増加

## 社会

【モデル事業】

- 水の都のトリセツづくり
- まつえ循環プロジェクト
- 中海スポーツパーク(仮称)整備・活用

## OUTCOME

市民が「水の都」に**親しむ機会**の拡大／自然環境と生態系の**保全と活用**の定着／水辺での**ビジネス展開**の機会拡大／自然な暮らしを楽しむ**移住者**の増加／地域内外のステークホルダーの円滑な**コミュニケーション**の創出

## 松江水郷祭〈宍道湖〉



島根大学とストレスサイエンス研究、通信環境の安全性確保(テレワーク環境全国第3位)

## 松江式ワークेशन



安定収入の実現による  
**UIターン**の増加、  
若者の**地元定着**

## 「しまねLINK」による海ゴミ拾い

地域おこし協力隊や島根大学生からなる「しまねLINK」による海岸清掃

## 水辺のマーケット

宍道湖畔の白湯公園を会場とする、マルシェ・カフェ・スポーツアクティビティが楽しめるイベント



## 「オール松江市」で進めるSDGs 〈「水の都」コンソーシアム〉



多様なステークホルダーとの連携

松江市(行政)

市民・企業・団体



市長のリーダーシップ  
SDGsアドバイザーのサポート



中海・宍道湖一斉清掃

高等教育機関

金融機関・商工団体



島根大学とジオパーク推進協議会と  
国立大学法人島根大学との連携に関する協定締結式



カーボンニュートラル連携協定  
(山陰合同銀行・中国電力・松江  
商工会議所・東京海上日動火災)

成功体験の  
フィードバック

課題の解決

### 経済

【モデル事業】

- うみづくりプロジェクト
- 水の都の魅力活用
- 道の駅本庄リニューアル

### 社会

【モデル事業】

- 水の都のトリセツづくり
- まつえ循環プロジェクト
- 中海スポーツパーク(仮称)  
整備・活用

### 環境

【モデル事業】

- 松江流ブルーアップサイクル
- ジオパークを生かした防災・  
減災教育プログラム
- 学びのブルーカーボン

成長と発展

持続性の  
フィードバック

## SDGsの取組みを通じた 〈松江の将来像〉の実現

MATSUE  
DREAMS  
2030

夢を実現できるまち  
誇れるまち 松江

「松江産の食材が  
スーパーに増えた」



「世界中から松江に  
人が集まる」

「松江市民の  
モットーは  
『寛容』」



「日本が誇る『環境主都』まつえ」

「世界の水都  
MATSUEが  
水辺と公共交通の  
概念を変えた」





「松江ならではの」魅力を  
SDGsの視点により高め、  
世界中から人が集まる  
「SDGs未来都市 松江」  
を創ってまいります。

